

特定非営利活動法人日本顎咬合学会誌投稿規程

- この規程は、日本顎咬合学会誌に掲載する原著、総説および臨床報告等の投稿について、下記のように定める。
- 投稿は、原則として本会会員に限る。
- 本誌に投稿するものは、顎咬合学の基礎および臨床に関するものであって、他の雑誌に発表していないものに限る。重複投稿は禁止する。
- ヒトを研究（実験）対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われており、被験者あるいは患者との間にインフォームドコンセントが得られていなければならない。また、所属施設の倫理委員会あるいは本学会倫理委員会等の承認が得られていなければならない。
動物を研究（実験）対象とする内容については、所属機関、研究所の動物実験委員会等の承認が得られていなければならない。また、各種の動物保護や愛護に関する法律や基準に則していなければならない。
- 原稿の査読、ならびに採否と掲載料
 - 投稿されたすべての原稿は、編集委員会または専門的知識を有する者によって査読される。
 - 投稿原稿が、編集委員会へ到着した日付をもって、受付日とし、複数の査読者の意見をもとに編集委員会で検討し、その採否を決定する。
 - 原稿の長さは原則として刷り上り6頁までとするが、内容によっては編集委員会の検討により若干の増頁も認める。なお、図表・写真等の実費、発送等別刷りにかかる費用は著者負担とする。
- 別刷
別刷は有料とする。なお、希望する場合はその数量、送付先を原稿送付時に記載する。
- 投稿原稿には、本誌指定の論文投稿表を添付する。別項のチェックシートにより、著者自身で投稿原稿内容の確認を行い、著者チェック欄にチェックする。
- 校正
著者による校正は原則として初校までとし、その際には字句の著しい変更・追加・削除や、組版面積に影響を与えるような追加、削除等は固くお断りする。校正刷りは所定の日までに必ず返却する。校正
不要の場合には、その旨表紙左側に明記する。投稿者が連名のときは、校正の責任者と送り先を明記すること。
- 原稿の様式
各論文の種別および形式は以下基準とする。
 - 総説（Review）
 - 原著（Original Article）
 - 症例報告（Case Report）
患者を対象とし、原則として初診から治療計画、治療結果とその評価など時間経過を追う形式とする。
※歯科技工士、歯科衛生士でも歯科医師が連名の場合は症例報告を投稿することができる。
 - 臨床報告（Clinical Reports）、技術報告（Technical Reports）
自分が単独で診断や治療をしていない（もしくはできない状況で）臨床例の断片的な報告は臨床報告（または技術報告）とする。
※診断または治療を指示した歯科医師名を記載する。
 - 短報（症例報告、臨床報告、技術報告）
症例報告、臨床報告、技術報告における4ページ以内の短い記事を短報とする。
※短報であっても論文賞の対象となる。

- 原著論文は原則として表紙、英文・和文抄録、本文（緒言、材料および方法、結果あるいは成績、考察、結論）、文献の順に綴じ、表紙から通しページ番号をつける。
- 論文の表題は簡潔に内容を表し、副題は数字のみでなく内容を表したものであること。
副題例) -□□□□□□□□□□□□-
(その1) □□□□□□□□□□□□
(第1報) □□□□□□□□□□□□
- 著者名は全員記載し、所属は正式名称を記載する。連絡先は校正刷の郵送先を記載する。
- 投稿原稿は口語体、新かなづかい、ひらがな、横書きとし、漢字は学術用語など特殊な場合を除き常用漢字を用いる。外国人名および地名はなるべく原語とする。
- イタリック体で表現すべき個所で、イタリック体で記載できない場合は、アンダーラインを引いて表す。 例) in vitro

10. 論文表紙

- 1) 論文表紙には和文・英文による表題, 著者氏名, 所属機関名, 所属機関ごとの指導者の氏名と職名, 住所を記載する. また和文・英文によるキーワード(索引用語)を記載する.
- 2) 所属機関名, ならびに英文による所属機関名と住所は, その機関が公に登録しているものを使用する.
- 3) 英文表題は冠詞, 前置詞, 接続詞などの付属語ならびに慣用の特殊語を除き, かしら文字を大文字, 以下を小文字で記載する. キーワード(索引用語)は5語程度とし, 各語とも極力少文字数で表現する.

11. 本文

- 1) 本文は原則として緒言, 材料および方法, 結果あるいは成績, 考察, 結論の順に記載する.
- 2) 緒言, 材料および方法, 結果あるいは成績, 考察, 結論の見出しの前には数字をつけない.
- 3) 文中の項目を細分する場合は, I・II・III……, 1・2・3……, 1)・2)・3)……, ①・②・③……, の順によるものとする.
- 4) 文中の外国語(欧文)は下記の通りとする.
 - ①人名: 通常姓のみを記載する.
 - ②製品名, 製造者名: 原語で示す必要があれば, かしら文字を大文字, 以下を小文字とする.
 - ③普通名詞: ドイツ語, ラテン語はかしら文字を大文字, 以下を小文字とする. 英語, フランス語はすべて小文字で記載する.
 - ④学名: 二名法により属名のかしら文字を大文字, 以下を小文字とし, イタリックで記載する. たびたび使用する場合は2回目以後属名を省略し, かしら文字で表してさしつかえない.
例) *Streptococcus mutans* → *S. mutans*
 - ⑤その他: 原語で示す必要があれば, 慣用の特殊語を除きすべて小文字で記載する.
- 5) 文中の数字の取り扱い, 下記の通りとする.
 - ①アラビア数字(算用数字): 数量を示す場合
 - ②日本数字(漢字) 数字を含む名詞, 形容詞, 副詞など: 第一大臼歯, 一部分, 二次う蝕, 二, 三の, 再三, 四方, 十二指腸, 十数回
- 6) 単位は慣習に従い記載する.

12. 参考文献

- 1) 文献は, 本文末尾に一括して引用順に記載する.

2) 記載例題

雑誌……著者: 表題. 雑誌名, 巻(号): 頁一頁, 年号.
単行本…著者: 書名. 版: 頁一頁, 発行所(発行地), 年号.

- (例1) 村岡 博: 中心位 Centric Relation の採得法. 歯界展望, 42(1): 55-65, 1973.
- (例2) Ross, I.F.: Incisal Guidance of Natural Teeth in Adults. J.P.D., 31: 155-175, 1974.
- (例3) 河村洋二郎: 口腔生理学. 第1版: 253-255, 永末書店(京都), 1966.
- (例4) Kornfeld, M.: Mouth Rehabilitation. 2nd ed.: 101-131, Mosby(St. Louis), 1974.

なお, 雑誌等の略称については, 別項に準じ記載すること.

- 3) 掲載誌名の省略法は, 原則として当該雑誌で規定されている省略法を採用する.

13. 図表

- 1) 図, 写真, 表などは図と表に分類して番号を記入する. 写真を使用する場合は, 解像度の高いものを(300dpi以上)を用意する. 画像データの形式はJPG, JPEG, PENとし, パワーポイント(PPT)上に図番号を付して配置することが望ましい.
- 2) 図, 写真, 表はカラー・モノクロの指定を行うこと. 図・表を単色で作成する場合は黒で記載し, カラーを希望する場合は著者自身で配色した上でカラーデータを添付して投稿すること.
- 3) 図・表には, それのみで理解できるような説明をつけ, それぞれに記載する図・表の説明は日本語を用いる.
- 4) 図・表のサイズは, 原則として編集作業時に決定する. なお写真は1カットを1枚とするが, 組写真(10枚法エックス線写真を含む)を用いる場合はあらかじめ著者自身が作成すること. なお組写真の場合はページ幅(16cm)を基準とする. サイズが不明の場合は編集委員会に委託する旨, 記載する.
- 5) 図・表の挿入箇所を本文中に明記する.

14. 投稿原稿の送付

- 1) 投稿は原則としてオンライン投稿とし, オンライン投稿・査読システム(<https://ago.ac/publications/thesis/>)から行う. ただし, 編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りではない.

- 2) 投稿原稿の形式は word を用い投稿票, 表紙, 英文抄録, 本文, 文献の順に記載し, 通しページ番号をつけて投稿する.
 - 3) 投稿ページの指示に従って「論文の種類」, 「タイトル」, 「キーワード」, 「COI 申告」を入力後, 投稿ページに進み, 各ファイルをアップロードした上で投稿を完了すること.
 - 4) この規定にない事項は, 別に編集委員会で決定する.
15. 本誌掲載の著作物の複写権, 有線送信権は本学会に帰属するものとする.